

高校教育 課長 殿

県立津久井浜高等学校長

学校運営協議会活動状況報告書(令和6年度)

委員数 9人 名称: 神奈川県立津久井浜高等学校学校運営協議会

開催の概要 (行が足りない場合は追加してください)		主な議事内容(箇条書き)	
	第1回	1 開会のあいさつ、委嘱 3 令和6年度の学校目標設定について 5 校内見学 7 閉会のあいさつ	2 学校運営協議会委員紹介 4 質疑応答 6 その他
	第2回	1 開会のあいさつ 3 質疑応答 5 閉会のあいさつ	2 文化祭参観 4 その他
	第3回	1 開会のあいさつ 3 令和6年度学校評価報告書について 5 その他	2 校内見学 4 質疑応答 6 閉会のあいさつ
有識者による評価 (第三者の視点)	実施日	3月13日	
		・全体的に生徒は真面目で落ち着きが見られ、熱心に授業に取り組んでいる。今後とも地域に期待される学校であり続けることを望んでいる。 ・生徒による行事の企画・運営では、津浜祭(文化祭)や学校説明会で主体性が感じられた。日常の学校生活が確立してこそこの行事であることを常に意識させ続けてほしい。 ・生徒との個人面談の機会が充実しているのは大変重要だと思う。こうした面で前進しているのは素晴らしいことで、より充実することを目指してほしいと考える。 ・学校のホームページの内容に更新されていないものがある。学校見学や説明会をホームページを通じて申し込ませているので、興味のある人は必ず見るはずであり、内容は常に更新すべきである。 ・学校説明会に多くの生徒・保護者が来校したが、志願変更前の倍率が「1」を下回ったことをどうとらえていくか。選ばれ続ける津久井浜高校であるための魅力づくりに関する発信が今以上に必要である。	
部会の取組結果 ※部会ごとに書いてください。 ※足りない場合は行を追加してください。		取組状況 (選択式)	成果と課題
	学校評価部会	委員の意見を学校運営に生かせたか。(選択式)	成果(具体的な取組内容と結果) ・小学校・中学校関係者からは、積極的に進路先候補のひとつとする中学生が一定数存在するなどの理由から、おおむね好意的な評価をいただいている。また、横須賀市に立地する民間企業等との連携についても委員からご意見を賜わり、活用のは是非を含めて今後検討していきたい。
		はい	課題(今後の取組へ向けた課題) ・委員の中には「地域の中堅校」という言葉を使われる方もいる。しかし、地域全体から見ると本校は進学希望者が多数を占める学校で、今後もその進路希望を実現するための教育の質を継続して高めていく必要がある。また、インクルーシブ教育実践推進校としても、理想と現実の差を解消していくように努めていく必要がある。
	キャリア・学習部会	委員の意見を学校運営に生かせたか。(選択式)	成果(具体的な取組内容と結果) ・一人一台端末の稼働率向上に学校をあげて取り組み、電子黒板の配備もあってICT機器の積極的な活用を図った。教員の操作能力を高めるためのロイロノートやClassiに係る研修を行うことで、年度半ばにはほぼすべての教員がICT機器を用いた授業を展開できるようになった。また、これに関連して、授業をよりよいものにしていくとする意識が醸成され、授業改善の一つのテーマとなった。
		はい	課題(今後の取組へ向けた課題) ・一人一台端末の授業における利用向上の取組は一定の成果をあげているが、進路活動等、教科以外での利用率向上は道半ばである。今後は学校生活全体で文房具のように一人一台端末を使用していけるようにする取組が必要と考える。
	地域連携部会	地域との協働による取組が推進できたか。(選択式)	成果(具体的な取組内容と結果) ・地域の観光協会が主催する行事のボランティアに、本校生徒が参加することによって地域住民に本校と地域との連携をアピールし、好意的な評価を得ている。また、学校から最寄り駅までの地域清掃にも取り組み、生徒の美化意識の向上にも貢献している。
		はい	課題(今後の取組へ向けた課題) ・ボランティアを依頼する団体が、学校に頼めば必ず生徒を派遣してくれると思っているようであるが、希望者が集まらないのが現実である。しかし、今後も強制ではなく真のボランティア活動として、近隣の各機関・団体等との連携を図っていく。